



かみこあにむら
議会だより

みどり

第 159 号

発行 平成28年11月10日

編集 議会広報編集委員会

秋田県上小阿仁村議会

TEL 0186 (77) 2226

FAX 0186 (77) 2227



号砲とともに 健脚競う

【第52回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会】

9月定例会

一般会計ほか8会計	P 2
一般会計決算のあらまし	P 3
人事案件	P 4
審査過程における意見・要望	P 5
28年度補正予算	P 7
一般質問 3氏が登壇	P 8
議会の動き	P 11
編集後記	P 12



一般会計ほか8会計

実質収支は黒字決算

平成27年度の一般会計決算は、歳入26億2004万円、歳出25億1981万3千円、翌年度へ繰り越す財源を除いた実質収支額は9396万7千円の黒字決算となりました。

決算規模を前年度と比較すると、歳入では1億4659万8千円、歳出では1億6029万1千円と共に減額となり、前年対比では歳入94・7%、歳出94・0%で、前年度を下回る決算額となりました。

◆決算の概要◆

9月5日から15日までの11日間にわたり開かれた第3回定例会では、平成27年度各会計決算など19案件を審議し、すべて原案のとおり全会一致で認定・可決しました。

一般質問では、保育園の運営、観光産業、農業振興、雇用の場や誘致活動の推進、武蔵野大学生との交流継続について、3氏が村政をだしました。

また、任期満了に伴う教育委員会委員の人事案件が提出され、無記名投票の結果、全会一致で同意しました。

◆財政運営の状況◆

経常的収入のうち一般財源は17億2942万5千円で、歳入総額の67・0%、前年度より7250万3千円の増となっております。その主なるものは、地方交付税と地方消費税交付金の増額によるものです。経常的な歳出のうち、一般財源は14億4679万8千円で、歳出総額に占める割合は58・3%となつてお

平成27年度 各会計歳入歳出決算額

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残額	繰越財源	実質収支額
一般会計	26億2004万円	25億1981万3千円	1億22万7千円	626万円	9396万7千円
特別会計	16億8835万8千円	16億7477万円	1358万8千円	0円	1358万8千円
国民健康保険事業	4億5797万4千円	4億5788万円	9万4千円	0円	9万4千円
国民健康保険診療施設	1億1934万5千円	1億1934万5千円	0円	0円	0円
特別養護施設	3億2688万6千円	3億1628万7千円	1059万9千円	0円	1059万9千円
簡易水道事業	1億7148万円	1億6858万5千円	289万5千円	0円	289万5千円
農業集落排水事業	6530万9千円	6530万9千円	0円	0円	0円
下水道事業	4730万2千円	4730万2千円	0円	0円	0円
介護保険事業	4億6501万4千円	4億6501万4千円	0円	0円	0円
後期高齢者医療	3504万8千円	3504万8千円	0円	0円	0円
合計	43億839万8千円	41億9458万3千円	1億1381万5千円	626万円	1億755万5千円

平成27年度一般会計決算

主要施策の成果

総務費

秋田県町村共同電算化事業

4619万7千円

秋田県内全12町村加入による共同電算システムの運用を図った。



ほおづきゆべし餅、こはぜゆべし餅、
ほおづきパウンドケーキなどの新商品

●生活バス路線維持費
1547万7千円
生活路線バスの赤字対策として補助し、バス運行の維持に努めた。

衛生費

廃棄処理事業

1894万円

ごみ処理を北秋田市クリーンリサイクルセンターへ委託した。

臨時福祉給付金

490万8千円

消費税引き上げに伴い、国の暫定的・臨時の措置として、801人に一人あたり6千円を支給した。

し尿処理事業

502万1千円

北秋田市周辺衛生施設組合に対し、人口・搬入割合に応じて負担した。

農林水産費

農地・水保全管理支払交付金

1311万2千円

共同活動を通じ、各集落の農地・農業用水等の資源や農村環境の保全を図った。

中山間地域等直接支払交付金

931万9千円

中山間地域における生産条件の不利な団地の農地に対して、収益の向上や環境整備を図る目的で交付された。

民生費

特産品商品開発事業

423万円

プロジェクト開催実行委員会への負担金。

道の駅の管理委託料

588万6千円

沖田面、南沢地内の子局をデジタル化した。

集落振興交付金

302万7千円

KAMIKOANI-プロ
ジェクト秋田2015開催負担金
1782万7千円

決算審査報告

税負担の公平性

滞納額の対応強化を求める

一般会計及び特別会計を通じ、その計数には誤りはなく、証拠書類は適切に処理され妥当と認められた。

滞納者は村税、国保税、住宅使用料、農業集落排水使用料、介護保険料とも、長年にわたり固定化しているので、その対策を至急講じていただきたい。

経費の節減は勿論のこと行政の簡素化、効率化に努め、将来を展望した計画的な行政財政運営によって、健全な財政の維持確立を図られることを望みます。

(審査の総評より抜粋)

監査委員 鈴木 孝明
伊藤 秀明



監査報告する鈴木代表監査委員

施設機能診断委託

(農業集落排水事業)

1424万5千円

(うち国費800万円)

村の管理する農業集落排水施設の整備及び機能保全

対策として、最適化を図るための機能診断調査を実施した。

土木費



橋脚の断面修復を実施した菊桜岱橋

道路維持工事
2704万8千円

多々羅十二ノ沢線道路改修

● 野外生産試作センター管理費
1777万6千円

● 生産物売扱収入
231万3千円

● 機能保全構想策定委託
(農業集落排水事業)
1213万9千円

● うち国費600万円
(国費1554万円)

水施設の整備及び機能保全対策として、最適化を図るための整備構想を策定した。

良、藤沢中茂線舗装補修、沖田面学校線舗装補修を実施した。

除雪委託料

5997万5千円

冬期間の交通確保のため、生活道路を中心に107路線、49・5kmを実施した。

● 住宅リフォーム緊急支援事業(工事費の10%、県は15万円、村は20万円を限度として補助)
・申請件数 24件
・事業費 3672万円
・県補助金 268万円
・村補助金 315万6千円

社会資本整備総合交付金事業(菊桜岱橋補修工事)

2220万円

(国費1554万円)

● 北秋田市への消防事務委託
8789万4千円

● 水槽付消防ポンプ自動車購入
5508万円

● 小中学校防犯カメラ設置工事
110万1千円

● 生涯学習センターエアコン取替工事
367万2千円

平成26年8月の梅雨前線

豪雨により損傷した五反沢

川(山ふじ温泉)を原状回復した。

教育費

● 小学校プールフェンス修繕工事
34万8千円

● 校門脇貯水池柵工事
72万3千円

● 公共土木施設災害復旧工事
313万2千円

災害復旧費

● うち国費800万円

村の管理する農業集落排水

対策として、最適化を図る

ための機能診断調査を実施

教育委員会委員の任命に同意

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について提案され、無記名投票の結果、次のとおり再任されました。



保坂 康雄氏
(昭和30年7月31日生)

年度別不納欠損額の状況

区分	年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度
村民税 ①		32.3万円	34.8万円	33.4万円	57万円	11.4万円
固定資産税 ②		113.5万円	71.5万円	132.2万円	88.4万円	77.3万円
軽自動車税 ③		1万円	3.7万円	3.8万円	3万円	1.5万円
村税計①+②+③		146.8万円	110万円	169.4万円	148.4万円	90.2万円
国民健康保険税		163.5万円	78.3万円	223.6万円	163.3万円	197.3万円

常任委員会付託議案

決算審査に420件の質疑・意見

保育園職員体制の

早急な改善を

総務産業常任委員会に付託された議案について、
9月6日から7日間審査しました。
決算審査にあたっては、420件の質疑、意見が
出され、当局に対しても文書で回答を求めました。
その要旨は、次のとおりです。

決算認定議案

が連携をとつて取り組んで
もらいたい。



本会議最終日の委員長報告

野外生産試作センター の運営

1日あたりでは0・31人の減に留りました。夏の間の営業時間については、新年度から1時間の延長を検討してまいります。バスの便数についても、試験運行の実施を考えています。また、指定管理については、機械設備の状態も考え方を検討してまいります。

▼答弁 村においては副村長を委員長に、各課長等を委員とする債権管理検討委員会を設置しており、各課連携して臨戸徴収等を実施し、収入の確保に努めているところであります。未収金の解消対策については、個々の状況を確認しながら、差し押さえ等を検討しています。

▼答弁 平成27年度は水曜日を休館日としたため、総数では利用者数が減ったが、監査委員からも「引き続ききめ細やかな対策の強化」が求められている。関係課

不納欠損処分と 未納額対策

不納欠損額は146万8千円（前年対比134%増）であり、その理由は「時効によるもの」であったが、金の解消対策については、

利用者が年々減少している。利用率を高めるために、時間延長または送迎バスの回数を増やすなどの対策を講じてもらいたい。指定管理者制度の導入も検討されたい。

今後、研修生は確実に後継者となれるよう、担当のハウスを持たせるなど、冬期についてガラスハウス3棟を利用し、職員、研修生が一体となり、収益を得るような指導をするべきである。

コミュニティセンター の運営

正職員が2名配置され、農家所得向上に寄与すると、また新作物の開発に努めるとしているが、専業農家、農業後継者も減少しており、試験研究も含め大幅な見直しの時期にきている。

今後、研修生は確実に後継者となれるよう、担当のハウスを持たせるなど、冬期についてガラスハウス3棟を利用し、職員、研修生が一体となり、収益を得るような指導をするべきである。

▼答弁 大学生の受け入れに際しては、民泊をお引き受けしていただける家庭が少ないことが課題点に挙げられています。学生からの報告書をホームページ等に公表するなどして、村民の皆様にこの活動をもうとご理解いただき、引き受け家庭を増やしていきたいと

坪部分に電熱線を付設し、ポット等の育苗育成に利用しております。今後、研修生の将来の経営方針や研修目的に基づき、研修後に後継者になるような研修内容を検討してまいります。

武藏野大学受け入れ事業



ホオズキの収穫体験やデザートづくりに約70人が参加した出会い創出事業（平成27年9月5日）

考えております。今後、大学側の要望も受けながら、一定のパターンで対応できないか検討してまいります。また、ご指摘のとおり民泊を引き受けて下さったご家庭と話し合いの場を設けて、より良い協力ができるよう努めてまいります。

若者の支援体制

若者の出会い創出事業については、機会を多くつくり継続的に支援していくことが必要である。村の施策の若者支援、子育て支援の目的として、村内の公共施設や観光スポットなどを活用しながら、上小阿仁らしいイベントを盛り込み、魅力あふれる出会いの場を提供しています。出会い、結婚から妊娠、出産、育児まで、切れ目なく支援することにより、若い世代が安心して暮らすことのできる村づくりに取り組みながら、子育て支援等の各種支援制度を一覧にするなどして周知してまいります。

保育園の運営

昨年の9月定例会で要望しているが、未だに保育臨時職員が正職員の2倍以上と多く改善されていない。村の将来を担う子どものた

内容を村内外に周知、アピールするべきである。

▼答弁

結婚を考える

若者を対象に、パートナーとの出会いの場を提供し、結婚へのきっかけを創出することを目的として、村内の公共施設や観光スポットなどを活用しながら、上小阿仁らしいイベントを盛り込み、魅力あふれる出会いの場を提供しています。出会い、結婚から妊娠、出産、育児まで、切れ目なく支援することにより、若い世代が安心して暮らすことのできる村づくりに取り組みながら、子育て支援等の各種支援制度を一覧にするなどして周知してまいります。



保育園で行われた防災訓練（7月22日）

診療所の健全経営

医師研究出張が増え、旅費が増加している。合わせて診療休診も増えているので適切な指導を願いたい。また、村民の健康維持には必要な機関なので、近隣の医師会との連携を図るべきである。

▼答弁 現在の保育園の職員体制は、正職員4名、臨時保育士4名、臨時保育補助3名、調理員2名、パート1名の14名となっております。村の大好きな子どもたちを安心して保育園に入園できるよう、研修会等に積極的に参加させ、保育の質の向上と園児の事故防止に努めおります。職員体制

についても、引き続き検討してまいります。完全給食については、ご飯を炊くことでも朝食を食べることにつなげたいという思いもありますが、今後、保護者のご意見や現場の課題等を整理・検証しながら検討してまいります。

除排雪体制

27年度は降雪量が少ない年度であるにも拘わらず、全体で除排雪に7000万円ほど支出している。住民

については、引き続き検討してまいります。完全給食については、ご飯を炊くことでも朝食を食べることにつなげたいという思いもありますが、今後、保護者のご意見や現場の課題等を整理・検証しながら検討してまいります。

生活の大切な道路であるが、他市町村の工夫など調査し、協力業者も交え節約に努めてもらいたい。

▼答弁

平成27年度は予算額が7000万円で、決算額は5997万円となっています。過去3年では、

平成24年度	平成25年度	平成26年度
9013万円	7215万円	8904万円

平成24年度	平成25年度	平成26年度
9013万円	7215万円	8904万円